

○倉敷市新溪園条例施行規則

昭和45年3月31日

規則第26号

改正 昭和49年12月21日規則第90号

昭和58年6月24日規則第39号

平成3年9月30日規則第53号

平成9年3月25日規則第24号

平成9年8月29日規則第71号

〔この改正で題名改正〕

平成13年3月23日規則第51号

平成17年3月25日規則第31号

平成25年12月26日規則第87号

平成31年3月22日規則第24号

(趣旨)

第1条 この規則は、倉敷市新溪園条例（昭和45年倉敷市条例第19号。以下「条例」という。）第20条の規定に基づき、倉敷市新溪園（以下「新溪園」という。）の管理その他必要な事項を定めるものとする。

(使用許可の申請)

第2条 条例第9条第1項の規定により新溪園の使用の許可を受けようとする者は、所定の許可申請書を市長に提出しなければならない。

2 前項の使用許可申請書は、使用期日の3日前までに提出しなければならない。ただし、市長においてやむを得ない理由があると認めたときは、この限りでない。

(使用の許可)

第3条 前条による使用許可の申請があつた場合、市長は、所定の使用許可書（以下単に「使用許可書」という。）を交付して使用させることができる。

(使用の制限)

第4条 条例第9条の規定により新溪園の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、引き続き3日を超えて使用することはできない。ただし、市長において特に必要と認めたときは、この限りでない。

(使用許可の変更または取消し)

第5条 使用者が、新溪園の使用を変更し、または既に受けた使用許可を取り消そうとする場合は所定の変更等申請書に、使用許可書をそえて市長に提出しなければならない。

2 使用許可の変更は、他の使用に支障を生じない場合に限り認めるものとする。

(使用時間)

第6条 新溪園の使用時間は、準備または原状に復するために要する時間も含めるものとする。

2 使用者が新溪園を使用する場合において、使用開始後の使用許可時間の延長は、これを認めないものとする。ただし、市長において他の使用に支障がないと認めたときは、この限りでない。

(附属設備の使用料)

第7条 新溪園の利用者は附属設備を使用するときは、別表に定める使用料を納付しなければならない。

2 前項の使用料は、新溪園の使用許可を受けたときに、施設の使用料と併せて納付するものとする。ただし、当該使用許可後、附属設備を使用することとしたときは、使用後直ちに納付しなければならない。

(使用料の還付)

第8条 条例第13条ただし書の規定により、市長が特に必要と認めて使用料を還付できる場合は、次のとおりとする。

(1) 不可抗力により新溪園を使用することができないとき。

(2) その他市長において相当な理由があると認めたとき。

2 前項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、所定の還付申請書を市長に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第9条 条例第14条の規定により、使用者が使用料の減免を受けようとするときは、使用許可申請の際、所定の減免申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、使用料を減免したときは、所定の通知書を申請者に交付するものとする。

(使用許可書の提出)

第10条 使用者は、新溪園を使用するにさきだつて使用許可書を管理人に提出し、使用後はその旨を報告しなければならない。

(使用者の義務)

第 1 1 条 新溪園の利用者は、条例第 1 8 条に定めるもののほか、次に掲げる事項を厳守しなければならない。

(1) 電灯の利用については、既設のものを利用し、特に他の電灯または照明を必要とする場合は、事前に市長の承認を得ること。ただし、費用は利用者の負担とし、利用後は原状に復すること。

(2) 暖房用器具は、管理人の認めたもの以外は使用しないこと。

(3) 使用済み物件は、必ず所定の場所へ返納し、管理人の点検を受けること。

(4) 飲食する場合は、管理人の承認を得てその指示に従うこと。

(指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用)

第 1 2 条 条例第 4 条の規定により市長が指定するもの（以下この条において「指定管理者」という。）に新溪園の管理を行わせる場合における第 2 条から第 6 条までの規定の適用については、これらの規定中「市長」とあるのは、「指定管理者」とする。

(その他)

第 1 3 条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、昭和 4 5 年 4 月 1 日から施行する。

(関係規則の廃止)

2 倉敷市新溪園条例施行規則（昭和 4 2 年倉敷市規則第 2 3 号。以下「旧規則」という。）は、廃止する。

(経過措置)

3 この規則の施行の日前において、すでに旧規則の規定により新溪園の使用の許可を受けた者は、この規則の規定により許可を受けた者とみなす。

附 則（昭和 4 9 年 1 2 月 2 1 日規則第 9 0 号）

この規則は、昭和 5 0 年 1 月 1 日から施行する。

附 則（昭和 5 8 年 6 月 2 4 日規則第 3 9 号）

この規則は、昭和 5 8 年 7 月 1 日から施行する。

附 則（平成 3 年 9 月 3 0 日規則第 5 3 号）

この規則は、平成 3 年 1 0 月 1 日から施行する。

附 則（平成 9 年 3 月 2 5 日規則第 2 4 号）

（施行期日）

1 この規則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の倉敷市新溪園^{けい}条例施行規則の規定は、この規則の施行の日以後に附属設備の使用料を納付した者について適用し、同日前に附属設備の使用料を納付した者については、なお従前の例による。

附 則（平成 9 年 8 月 2 9 日規則第 7 1 号）

この規則は、平成 9 年 9 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条第 1 項ただし書を削る改正規定は、平成 1 0 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 1 3 年 3 月 2 3 日規則第 5 1 号）

この規則は、平成 1 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 1 7 年 3 月 2 5 日規則第 3 1 号）

この規則は、平成 1 7 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 2 5 年 1 2 月 2 6 日規則第 8 7 号）

（施行期日）

1 この規則は、平成 2 6 年 4 月 1 日から施行する。

（経過措置）

2 この規則（第 2 条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、この規則の施行の日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、同日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則（平成 3 1 年 3 月 2 2 日規則第 2 4 号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成 3 1 年 1 0 月 1 日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

4 この規則（第 4 条、第 5 条及び第 1 0 条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表（第 7 条関係）

種別	単位	金額
石油ストーブ	1 台 1 時間当り	1 0 5 円

備考

- 1 使用時間に 1 時間未満の端数があるときは、3 0 分未満は切り捨て、3 0 分以上は 1 時間として取り扱うものとする。
- 2 営業割増し
使用者が営業の宣伝その他これに類する目的をもつて使用する場合には、金額に当該金額の 1 0 0 パーセントを加算する。
- 3 金額には消費税及び地方消費税を含む。